

モニタリングレポート(令和6年度)			
施設名	イスのサンケイホール鈴鹿(鈴鹿市民会館)		
施設所在地	三重県鈴鹿市神戸一丁目18-18		
指定管理者	鈴鹿アートライフデザイン 【代表構成員】 株式会社JTBコミュニケーションデザイン 【構 成 員】 国際ライフパートナー株式会社 【構 成 員】 近鉄ファシリティーズ株式会社		
施設担当課	文化振興課	問合せ先	059-382-7619
モニタリングの実施方針・方法等	施設の管理運営状況については、日報、月次報告書、年次事業報告書、年度事業報告書、定期的な現地調査、指定管理者へのヒアリング等により確認した。		

1 運営状況

1-1 施設の運営状況

項目	計画値	実績値	計画比
開館日数	305日	305日	0日
開館時間	2,594時間	3,425時間	831時間
利用者数	90,000人	66,244人	▲23,756人
事業参加者数	8,205人	6,676人	▲1,529人
平均利用者数(/日)	217.2人	施設稼働率	42.7%

1-2 目標の達成状況の推移

1. 施設稼働率の目標

	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
目標値(%)	36	37	38	39	40
実績値(%)	42.7	-	-	-	-
差	6.7	-	-	-	-

2. 施設利用者数の目標

	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	合計
目標値(人)	90,000	100,000	105,000	110,000	115,000	520,000
実績値(人)	66,244	-	-	-	-	-
差	▲23,756	-	-	-	-	-

【運営状況に関するコメント】

令和6年度は計画通り305日開館し、開館時間についても夜間利用の増加により、計画を831時間上回る結果となった。利用者数及び事業参加者数は目標には届かなかったが、稼働率は42.7%と計画を超える結果となった。今後はさらに広報を強化し、利用者等の増加につなげていきたい。

2 事業収支

2-1 指定管理料に係る収支状況

項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)
指定管理料	84,738,000	84,738,000	0
利用料金	14,000,000	17,058,120	3,058,120
企画提案事業収入(自主事業を除く)	25,600,000	18,848,732	▲ 6,751,268
その他収入	150,000	7,830	▲ 142,170
収入計	124,488,000	120,652,682	▲ 3,835,318
人件費	29,700,000	29,700,000	0
旅費交通費	100,000	62,620	▲ 37,380
通信運搬費	300,000	375,865	75,865
受信料	50,000	11,809	▲ 38,191
消耗品費	600,000	545,346	▲ 54,654
備品費	200,000	25,860	▲ 174,140
修繕費	2,500,000	2,500,000	0
印刷製本費	500,000	396,905	▲ 103,095
燃料費	200,000	0	▲ 200,000
光熱水費	14,600,000	14,973,381	373,381
賃借料	600,000	606,778	6,778
手数料	200,000	166,538	▲ 33,462
保険料	454,000	459,750	5,750
委託料	42,898,000	43,458,800	560,800
本部管理費	100,000	98,300	▲ 1,700
企画提案事業	30,100,000	22,635,828	▲ 7,464,172
その他支出	1,386,000	1,557,820	171,820
支出計	124,488,000	117,575,600	▲ 6,912,400
収支	0	3,077,082	3,077,082

2-2 自主事業収入に係る収支状況

項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)
自主事業収入	17,100,000	5,407,902	▲ 11,692,098
収入計	17,100,000	5,407,902	▲ 11,692,098
自主事業経費	15,800,000	13,561,809	▲ 2,238,191
支出計	15,800,000	13,561,809	▲ 2,238,191
収支	1,300,000	▲ 8,153,907	▲ 9,453,907

【事業収支に関するコメント】

計画に基づく修繕や保守点検を着実に実施し、施設の安全・快適な利用環境を維持した。一方で、利用者数や自主事業の収益が伸び悩み、自主事業収支を含めると赤字となった。次年度は、利用促進と経費管理の見直しを進め、収支改善に努めていただきたい。

3 業務内容

3-1 協定書、仕様書、事業計画書に定める業務の履行状況

評価項目	評価	所見
公の施設の管理者としての理解、姿勢：良・可・否の3段階で評価		
公民連携に対する理解と姿勢	良	行政との連携や法令遵守、環境配慮に十分配慮し、利用者視点を重視した質の高い施設運営を行っている。
施設に対する理解	良	
コンプライアンス、環境配慮に対する意識、理解	良	
業務の履行確認：可・否の2段階で評価		
施設運営の状況		
管理運営の実施体制	良	管理運営は計画通り適切に実施され、利用者対応や苦情処理も良好である。利用者数は目標未達だが稼働率は増加傾向にあり、今後の更なる利用促進が期待される。
施設運営の実績	可	
施設の使用に関する業務の状況	良	
苦情・トラブルへの対応	良	
施設の維持管理状況		
保守・点検・各種設備等の管理業務	良	保守・点検や修繕は計画的かつ適切に実施され、施設の安全性と快適性が維持されている。清掃・備品管理も良好である。
清掃、植栽等及び廃棄物処理の状況	良	
備品の管理状況	良	
修繕の状況	良	
事業の実施状況		
指定業務内の事業の実施状況	良	指定業務・企画提案事業は円滑に実施され、質の高い成果が見られる。自主事業も計画的に展開されており、今後の参加者促進が期待される。
企画提案事業の実施状況	良	
自主事業の実施状況	可	
サービスの質的评价：良・可・否の3段階で評価		
サービスレベルの評価		
施設サービス全般（接遇、情報提供、周知）	良	接遇、情報提供、維持管理はいずれも高水準で、利用者満足度もアンケートで好評を得ている。
維持管理業務	良	
運営業務	良	
事業内容の評価		
指定業務内の事業	良	指定業務・企画提案事業は計画通り実施され、アンケートでも高評価であった。自主事業は参加者数が少ないが、内容や満足度は高く評価されている。
企画提案事業	良	
自主事業	可	
業務遂行能力の評価：良・可・否の3段階で評価		
指定管理業務に関する収支状況	良	指定管理業務収支において、適切な支出管理が行われており、指定管理者本体の財務も健全である。
指定管理者本体の財務状況	良	
その他の事項に対する評価：良・可・否の3段階で評価		
緊急時の対応評価	良	緊急時においてもマニュアルに基づき適切に対応が行われており、安心して利用できる体制が整っている。

【業務内容に対するコメント】

管理運営は計画に沿って適切に行われており、人員体制や書類管理、出納管理も安定している。施設維持管理では保守・点検や修繕が計画的に実施され、清掃や備品管理も概ね良好である。指定業務や企画提案事業は円滑に実施され、利用者アンケートでも高評価を得ている。苦情・要望への対応も迅速で、緊急時の対応体制も整備されており、総じて市民サービス向上への取り組みが評価できる。

4 総合コメント

【公の施設の管理者としての理解、姿勢】

指定管理者としての役割を十分に理解し、公共性の確保とサービス向上の両立に努めている。利用者目線での運営姿勢が見られ、市民ニーズを踏まえた柔軟な対応も評価できる。市との連携や地域との協力体制も良好で、今後もさらなる発展が期待される。

【設置目的達成に資する取組としての的確性、独創性】

市民の文化活動を支援し、利用促進を図るため、市民向け講座や音楽祭などの事業を計画的に実施している。利用者アンケートの結果を踏まえたサービス改善にも取り組み、施設運営の質を高めている。さらに広報の工夫や地域との連携も進め、設置目的達成に向けて的確かつ主体的に活動している。

【適切な業務遂行のための体制、規律の整備と実行性】

人員配置は計画通り確保され、出納や書類管理なども適正に実施されている。マニュアルに基づく点検・清掃・修繕が計画的に行われ、緊急時対応も体制が整っている。職員の研修も定期的を実施されており、業務全般の規律と実行性は高いと評価できる。

【経済性】

収支管理は総じて適切で、指定管理料を基盤としつつも、利用料金収入が目標を上回るなど一定の成果を上げている。受託・企画提案事業は参加者が多く収益面でも貢献が見られる一方、自主事業は参加者数が伸び悩み収支改善が課題であり、今後の工夫が求められる。

【業務遂行能力】

指定管理者は人員配置や出納・書類管理を計画通り適切に実施し、利用者からの要望や苦情にも迅速・丁寧に対応している。受託事業や企画提案事業は参加者数で目標を上回る成果も見られ、収支管理も安定しており、総じて高い業務遂行能力が認められる。

【指定管理者に対する総合コメント】

指定管理者は、美術展や文芸賞といった受託事業に加え、企画提案事業でも参加者から高い評価を得るなど、市民文化の活性化に大きく貢献した。施設管理は適切で、保守・点検や清掃も計画的に実施され、安全・快適な環境を維持している。今後も地域に根ざした運営が期待される。

5 施設の課題と対策

令和6年度は企画提案事業の充実で来場者が増加し、市民の文化活動の裾野が広がった。一方、利用者数は目標に届かず、さらなる集客策が求められる。駐車場は来場者増加の影響で混雑しやすく、導線確保や警備・案内強化により利便性向上を図る必要がある。

6 施設の方針

令和6年度は企画提案事業を中心に多様な文化活動を展開し、市民の関心を高めた。今後は、指定管理者が利用者満足度の向上と利用促進策の強化に取り組み、目標達成に努めることが期待される。